

The first date, July 29, 2020 at 1:30 p.m.
2020 (wa) No. 4920, Compensation for Damage

Statement of Opinions

Late last year the mediator said to me, 'It's not so bad, your kids are older, they don't need a mother as much as younger kids do'. ^{さくねん ちやうていいん わたし いいました} 昨年、調停員は私に言いました。「そんなに^{ひかん}悲観することはありません。なぜなら、^{こども せいちやう おさない こども ちがって ははおや}あなたの子どもたちは成長して、幼い子どもと違って、母親は必要ありません。」

From the day in 2004 that I found out I was pregnant, I felt a sense of responsibility and protectiveness I'd never known before. ^{2004ねん みごもって わたし いま かんじた} 2004年に身ごもってから、私は、今まで感じたことがない^{せきにんかん なん}責任感、何としても子どもを^{まもらなければ}守らなければならないという^{きもちもつ}気持ちを持つようになりました。

It was a gift even more amazing because I suffer from a hormonal condition that can make it difficult to conceive. ^{ほるもんじやうたい にんしん むずかしかったわたし} ホルモン状態から妊娠が難しかった私にとって、^{こども みごもった}子どもを身ごもったことは^{おくりもの}贈り物であり、^{きせき}奇跡でした。

I read everything I could about what I should eat and not eat, do and not do. I changed all of the cleaning products in our home to natural ones, and avoided taking medicines. ^{にんしんちゆう なに たべて なに} 妊娠中は、何を食べて、何をすべきか^{しる}を知るために^{おおく しよもつ よみ あさりました}多くの書物を読み漁りました。^{いえちゆう}家中の^{すべて ぜんざい しぜん ゆらい}全ての洗剤を自然由来のものに変え、^{かえくすり のむ}薬を飲むのを^{ひかえました}控えました。

Then when our daughter was born, I felt a love unlike any I had ever known. ^{むすめ たんじやう}娘が誕生した瞬間、^{しゆんかん わたし いま}私は、^{あいじやう かんじました}今までにない愛情を感じました。

Along with that love came an even deeper sense of protectiveness and responsibility. ^{あいじやう} その愛情とともに、^{よりいっそうまもらなければ}より一層守らなければならないという^{きもち}気持ちと^{せきにんかん かんじる}責任感を感じるようになりました。

She was so small, and so dependent on me. ^{むすめ ちいさく} 娘はとても小さく、^{わたし たよ}とても私を頼っていました。

I worried, 'What if I suddenly died and nobody realized and she was here all alone, helpless'. ^{わたし} 「もし、私が^{とつぜんだれ しられる}突然誰にも知られることなく^{しん で}死んでしまい、^{むすめ ひとり なに}娘がここに一人で何もできない ^{のこされたら}まま残されたらどうなるのだろう」と、^{ふあん}不安になりました。

I was amazed that her body was growing and changing completely as a result of the breast milk my body made. ^{わたし ぼにゆう のん でむすめ} 私の母乳を飲んで娘が^{せいちやう かわって}どんどん成長して変わっていくのに^{おどろきました}驚きました。

Four years later I was happy to become pregnant with a second child, our son. ^{4ねんご} 4年後には、^{しあわせ ちやうなん さずかる}さらに幸せなことに、長男を授かることができました。

I did my best to have my children appreciate and know both Australia and Japan equally. 私は、子どもたちが、分け隔てなく、オーストラリアと日本の価値を認めて、それぞれの国を知ることができるように最善を尽くしました。

I have lived and worked as a teacher in Japan for 17 years. 私は、教師として働きながら17年間、日本に住んでいます。

I know how much people here value English ability and that an international perspective is highly sought after by Japanese companies in their employees. 日本において英語力がいかに重要か、また、国際的な視野が日本企業の従業員に求められているかを知っています。

I took our children to Australia every August to see our friends and family and to experience Australian daily life. ですので、私は、子どもたちを、毎年8月にオーストラリアに連れて行き、私たちの友人や家族とあわせたり、オーストラリアの日常生活を体験させていました。

For over 15 years I have been a mother. 15年以上、私は母親です。

The longest I had ever been apart from our children was a couple of days. その間、一番長く子どもと離れていたのはわずか数日ほどです。

I understand well the fear that all parents share that something bad might happen to their children. 全ての両親が子どもたちに不幸が降りかからないように心配していますし、私もそのことを深く理解しています。

I understand it, and I have experienced it. それを分かっていたのですが、私はそれを経験することになりました。

Just over a year ago I experienced something that for me felt like the death of both of my children in a single day. ちょうど一年前に、たった一日のうちに、二人の子どもが死んでしまったように感じる経験をしました。

My husband had asked me for a divorce a year and a half earlier, promising me custody of our children. 今から一年半前に、私の夫が離婚を切り出しました。その際に、夫は私が子どもたちの親権者になることを約束してくれました。

However, I loved him and our family. So, I tried hard to save our marriage and our family. しかし、私は、彼も家族も愛していましたので、何とか、婚姻生活と家族を救おうと努力しました。

I had no idea that his request would ultimately lead to the abduction of the children by him. その時は、夫の望みが最終的に、夫による子どもたちの連れ去りにつながるとは夢にも思いませんでした。

As an Australian, the thought that as a result of divorce you would lose all contact with your children is completely incomprehensible. オーストラリアで生まれ育った私には、離婚により子どもとの関係を完全に失うことは、全くもって理解できません。

It just isn't something that the average person thinks about and even if they did there are systems and laws in my country to prevent it from happening. 子の連れ去りを含む親子断絶に相当する行為は普通の人ならかんがえないことだと思っていました。また、仮にそのようなことが起こっても、私の母国であるオーストラリアでは親子断絶を防止するような社会的な仕組みや法律があります。

It never crossed my mind that it could ever happen to me. ですので、私は、自分の身にふりかかるまで、子どもたちが連れ去られるなんて頭をよぎったことさえありませんでした。

Even though I now know that in Japan the parent who abducts the children first is virtually guaranteed custody, I didn't know that before my children were abducted. 日本では子連れ去った片親に事実上監護権が与えられることを、自分の子どもたちが連れ去られるまで知りませんでした。

My husband and I were in the beginning stages of a divorce court case, which he filed, when I came home from work one day to find our children gone. 夫の申し立てた離婚訴訟が始まったばかりのある日、私が職場から家に帰ると夫によって子どもたちは連れ去られていました。

As it stands I'm currently still married to my husband, but I have been unable to meet our children for over a year. 今までも婚姻状態にありますが、私は子どもたちに1年以上会うことができていません。

They aren't able to visit Australia or have contact with their Australian family. 子どもたちはオーストラリアに行くともできず、また、オーストラリアにいる親戚に会うこともできません。

How can it be that I am trusted to teach and look after Japanese students at my school every day, but cannot even meet my own? 私は、職場の学校で、毎日、信頼されて日本の生徒たちを教育し、また、世話をすることができているのに、どうして、私は自分の子どもたちに会うことさえできないのでしょうか。

Not all divorcing parents in Japan do this, but as in cases like mine, where my husband deliberately chose to cheat; 日本で離婚をする全ての親がこのようなことをするわけではないでしょう。しかしながら、私の場合、私の夫は、計画的に欺くことを選びました。

to harm our children rather than let the court decide fairly; there is no legal recourse or safeguards. 裁判所による公平な判断を仰ぐのではなく、法的支援も保護手段もないところで、子どもたちに害を与えることを選んだのです。

Maybe because there isn't a law in Japan preventing child abduction my husband thought that I might abduct our children to Australia and he would never see them again. もしかしたら、日本で子の連れ去りを禁止する法律がないために、夫は、私が子どもたちをオーストラリアに連れ去り、二度と子どもたちに会えなくなるかもしれないと考えたのかもしれない。

I often wonder now, if I myself could ever have considered abducting our children. 今、私自身が子どもたちを連れ去っていたらと思えぬことがよくあります。

It's just not something that people in Australia think is acceptable in any way or under any circumstances.

しかし、オーストラリア人にとって、子の連れ去りは、いかなる状況であっても決して受け入れることはできません。

It is seen as child abuse to suddenly remove children from the life they have known, and family violence to

keep a parent and a child from each other without reason. 子どもたちを日常生活から突然切り離すことは子どもへの虐待であり、理由もなく片方の親から子どもたちを引き離すことは家庭内暴力です。

Because there is no law preventing the abduction of children, my husband and my children have been

taken from me. 子の連れ去りを禁止する法律がないために、私は夫と子どもたちを奪われてしまいました。

The fact that lawyers know this and guide their clients accordingly means that other parents have done

and will do the same as my husband. 家庭裁判所は子連れ去った親に親権を与えることを弁護士は知っています。だからこそ、弁護士は、私の夫と同じく他の親たちもこれまでしてきた、そしてこれからもするであろう子の連れ去りを依頼人に指導するのです。

I can't bear the thought of this traumatic event happening to other parents and children. 他の親や子どもたち

に今も同じ悲劇が起きていることを考えると耐えられません。

When my husband moved out of our home for seven weeks in 2018, of course he was able to see our

children whenever he wanted, and he met them three times a week. 2018年に夫が自主的に約7週間家を出ていきました。その間、夫は当然ながら会いたいときはいつでも子どもたちに会うことができましたし、実際に週に3度は子どもたちに会っていました。

Children need both parents and I supported and encouraged them to meet him. 子どもたちには父親と母親

が必要ですから、私は子どもたちに父親に会うことを勧めましたし、そのための支援もしていました。

Why am I not given the same opportunity by the family court? 何故、私は、同じような子どもと会う機会

が、家庭裁判所から与えられないのでしょうか。 Why is he allowed to refuse? 何故、私が子どもと会うのを彼が拒否することが許されるのでしょうか。

In Australia, if during divorce children say they don't want to meet one parent, the court tries to determine if

their opinion has been unduly influenced by the other parent. If it is found to be so, that parent would be seen in a negative light by the court. オーストラリアでは、離婚協議中に、子どもたちが片方の親と会いたくないと言った場合、裁判所は、子どもたちの意見がもう一方の親から過度な影響を受けたかを判断します。その事実が判明した場合は、裁判所によって、過度な影響を与えた親は、悪い印象を持たます。

This understanding doesn't appear to be the same in Japan and this fact created the situation where it was

to my husband's advantage to turn our children against me. しかし、日本ではこのような理解はされていません。その結果、私の場合、子どもたちを私に敵対するように変えることが夫にとって有利に働く状況になっています。

And he chose to do so. 夫はそのような行為を選択した
のです。

The family court should do its utmost to prevent harm to children where possible, and it is the responsibility
of diet and government to make sure it does. 日本の家庭裁判所は子どもが傷つかないように最大限努力す
べきですし、それが実行されることは日本の国会や政府の責任です。

If I had raised my children in Australia, this could never have happened to them. もし、私が、子どもを
オーストラリアで育てていたら、このようなことは起きなかったと思います。

I want to apologize to them. 私は、子どもたちに対し、申し訳ない気持ちでいっぱ
いです。

Why have my children been deprived of a perfectly good, loving mother just because the diet and
government hasn't made a system that upholds their rights and instead rewards the parent who tramples
them? 日本の国会や政府が子どもの権利を守る仕組みを整えないだけでなく、代わりに、子ども の権利を
踏みしめる親に対して有利な状況を与えているというだけの理由で、どうして、私の子どもたちは良き愛すべき
母親を失わなければならないのでしょうか。

Why can't my children benefit from having two parents?

どうして、私の子どもたちは、父親と母親から愛情を受けることができないのでしょうか。

Surely that is their birthright. これは、まちがいでなく、子どもたちが生まれながらに持っている権利
です。

How can it be said that our children don't need me? どうして、私の子どもに私
が必要ないといえるのでしょうか。

I am their mother and no matter what my marital status is, I will always be their mother. 私は、私の子ども
たちの母親であり、婚姻の状態がいかなる状況でも、私は二人の子ども の母親です。